

| | |
|----------|---------|
| 幼稚園・学校番号 | 1509413 |
| 施設名（園名等） | 上ノ原幼稚園 |

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

年長 5 歳児 きりん組 担任（教諭名）：柴田明日香

1. 活動のテーマ

<テーマ> (タイトル)

お芋ほり ②「おいもほり遠足」

テーマの設定理由

日頃から夏野菜などの栽培を通して、その生長に関心を高めている子どもの姿から、本テーマを設定した。旬の野菜に触れ、生長を知り、味わうことで、触覚や嗅覚だけでなく、味覚も働かせながら「食」としての自然に触れる体験をする。本体験を通し、植物としての自然の変化に心を動かすだけでなく、自分たちで収穫をする喜び、食を大切にしようとする心が育まれることを期待する。園内でサツマイモの生長に触れられる園庭環境を生かすとともに、さらに園外に「お芋ほり遠足」に出ることでより充実感を味わいながら興味関心を深める体験となることを目指す。

2. 活動スケジュール (活動の流れ)

- ①交通機関を使い、引率の保護者数名、保育者とともに現地まで向かう
- ②駅から農園まで向かう
- ③農園の方の説明を受け、自分の手でサツマイモを掘る。自分の分のサツマイモが掘れたら友だちの手伝いをする。
- ④収穫したサツマイモを自分で背負って持ち帰る
- ⑤家庭で調理して、実食する

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

・活動のために準備した道具、環境の設定>

- ・収穫に必要な道具（軍手やスコップ、袋など）
- ・農園と農家の方
- ・製作の活動に必要な教材（紙や絵の具等）

・活動中の子どもの姿・声、子ども同士や教諭との関わり 等を記載

- ・ サツマイモを掘る前に農家の方の説明を受けた子どもたちは、掘る際に注意することを意識して掘り進めていく姿があった。
- ・ 「サツマイモの周りの土をどかして少しずつ掘っていくこと」、「隣の友だちのサツマイモのツルと繋がっているかもしれないこと」「細い太い、短い長いなど様々な形のサツマイモがあること」「掘ったばかりのサツマイモは、売っているサツマイモと違って土が付いていて茶色いこと」などを理解、発見しながら活動に参加していた。
- ・ 自分の分のサツマイモを掘り終わると、積極的に友だちの手伝いをする姿があった。
- ・ 持ち帰ったサツマイモは、それぞれの家庭で調理をして食べた。スイートポテト、大学芋、おいもご飯など様々な料理にして実食する体験をしていた。あつまりの中で、どんな調理をして食べたか、どんな発見があったかを共有する時間を設けた。



4. 振り返り

<振り返りによって得た、教諭の気づき>

- ・ 自分の足で農園まで出向き、自分の手でサツマイモを掘り、食べるという一連の流れの中で、子どもたちは様々な刺激を得ることができた。
- ・ サツマイモそのものだけでなく、畑の土の感触や匂い、土の中の生き物などにも心を動かす姿があった。
- ・ 掘ったサツマイモから発見を得ることはもちろん、自分が掘り終わった後、友だちの手伝いにいき、友だちを思いやり、協力する姿も見受けられた。
- ・ 普段口にしていない食事が自分たちの前に出されるまでに、どれだけの方が関わってくれているのか、そのことに感謝をしながら食べることの大切さを再認識できるきっかけとなる活動であった。